

避難所における新型コロナウイルス感染症対策

避難所を開設した場合、密集した空間での集団生活により、新型コロナウイルスによる感染症のリスクが高まる危険があります。

可能な限り衛生環境の確保に努めてまいります。市民の皆様も次のことを確認し、避難時の感染症対策にご協力をお願いします。

《避難を検討される方へ》

- 自分の住んでいる場所が浸水想定区域や土砂災害警戒区域なのかハザードマップで確認してください。

・洪水ハザードマップ



・土砂災害ハザードマップ



避難とは[難]を[避]けること、つまり安全を確保することです。

**安全な場所にいる人まで
避難する必要はありません。**

- 避難先は、指定されている避難所だけではありません。**安全な親戚や知人の家などへの避難**も検討してください。
- できるだけ**マスク・消毒液・体温計**などを持参してください。
※**自主避難**の場合、**各自で必要なもの（食糧等）**も持参してください。

《避難する場合の注意点》

- 発熱・咳などの症状**がある方は、避難所に配置されている職員等に申し出てください。
- 頻繁に**手洗い**するとともに、**咳エチケット**等の基本的な感染対策を心がけてください。
- ほかの避難者との距離を十分**にとるようにしてください。
- 定期的に換気**を行うように心がけてください。

台風・大雨に備えて 避難行動判定フローをチェック！

ふだん
から
確認

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
災害時には、**危険な場所にいる人は
避難することが原則**です。

避難行動判定フロー

スタート！ あなたがとるべき避難行動は？

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認しましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていない場所でも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？ **いいえ**

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、町からの避難情報を参考に身の危険を感じたら避難しましょう。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。 **例外**

浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**自宅に留まり安全確保することも可能**です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？ **いいえ**

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3
安全な親戚や知人の家などに避難しましょう

警戒レベル3
指定している近くの避難所に避難しましょう

警戒レベル4
安全な親戚や知人の家などに避難しましょう

警戒レベル4
指定している近くの避難所に避難しましょう